

青 産 イ 号 外
令和8年2月19日

報 道 機 関 各 位

青森県経済産業部産業イノベーション推進課長
(公 印 省 略)

あおもり産学官金連携イノベーションアワード2025受賞企業
が奥田副知事表敬を行います

県では、青森県内の産学官金連携活動の進展と裾野拡大に向けた表彰制度として「あおもり産学官金連携イノベーションアワード」(主催：イノベーション・ネットワークあおもり(代表 青森県知事))を実施しており、去る12月10日に開催した「あおもり産学官金共創フォーラム」において今年度の授賞式を開催したところです。

このたび、受賞者による奥田副知事表敬を下記のとおり行いますので、当日の取材について御協力くださるようお願いいたします。

記

1 日時

令和8年2月26日(木) 13:30～13:45

2 場所

県庁南棟2階 第二応接室

3 表敬者

①有限会社まごころ農場(弘前市)※「イノベーション優秀賞」受賞

常務取締役 齋藤^{さいとう} 早希子^{さきこ} 氏

②株式会社弘前子ども発達支援センター(弘前市)※「イノベーションチャレンジ賞」受賞

代表取締役 齋藤^{さいとう} まなぶ 氏

取締役 齋藤^{さいとう} 渉^{わたる} 氏

4 内容

- (1) 表敬者紹介
- (2) 受賞概要説明・歓談
- (3) 記念撮影

報道機関用提供資料	
担 当 課	経済産業部産業イノベーション推進課
担 当 者	技術振興グループ GM 藤田 篤史 主査 鳥山 一成
電話番号	直通：017-734-9379 内線：3717
報道監	経済産業部 次長 山口 郁彦 (内線3601)

【参考】あおもり産学官金イノベーションアワード2025について

青森県内の産学官金連携活動の進展と裾野拡大に向けて、先導的な優良事例のノウハウ共有と取組意欲の醸成を目的に実施する表彰制度（平成28年度創設）

（１）主催

イノベーション・ネットワークあおもり（代表 青森県知事）

（２）表彰

①イノベーション優秀賞（１点）

産学官金連携による取組の成果としての優れた技術・製品・サービスが、本県の新産業・新事業創出や地域活性化に貢献している実績があると認められるもの。

②イノベーションチャレンジ賞（１点）

産学官金連携による取組の成果としての優れた技術・製品・サービスが、本県の新産業・新事業創出や地域活性化に今後、期待がされるもの。

（３）審査基準

①新規性・独自性、②社会貢献・地域貢献、③成果、④将来性、⑤その他（特許等知的財産の取得・活用、DX・GX・SDGsの推進等、特筆すべき取組）の5つの基準を踏まえて、外部有識者からなる審査委員会（委員長：（一社）首都圏活性化協会会長 野長瀬 裕二）が産学官金連携の視点から総合的に審査したもの。

（４）受賞者 ※詳細は別紙のとおり

区分	事業者	市町村	概要
イノベーション 優秀賞	有限会社 まごころ農場	弘前市	独自の乾燥技術による青森県産りんごを使用した「あおもり林檎 セミドライ」の事業化
イノベーション チャレンジ賞	株式会社 弘前子ども発達支援センター	弘前市	早期発達評価（アセスメント）支援 Web スクリーニングの開発と地域への普及

(5) 授賞式

令和7年12月10日（水）に開催した「あおもり産学官金共創フォーラム」において授賞式を実施。

＜フォーラム開催概要＞

日 時：令和7年12月10日（水） 13：30～16：30

場 所：ウェディングプラザアラスカ 4階ダイヤモンド

参加対象：県内事業者、支援機関、自治体など

参加者数：154名（会場参加124名/オンライン参加30名）

プログラム：

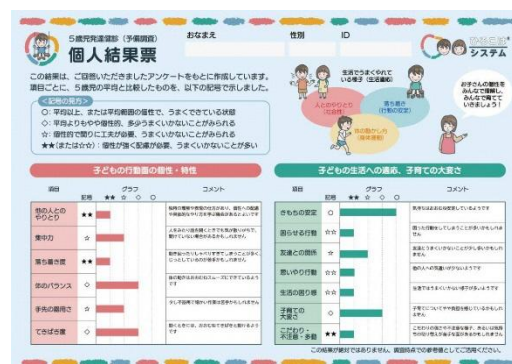
- ①あおもり産学官金連携イノベーションアワード2025 授賞式
- ②あおもり若手起業チャレンジプログラム2025 ピッチコンテスト
- ③トークセッション「産学官金連携が生み出す挑戦・支える挑戦」
- ④産業イノベーション推進課事業中間報告会

「あおもり産学官金連携イノベーションアワード 2025」受賞者

イノベーション 優秀賞※1	有限会社まごころ農場(弘前市) (独自の乾燥技術による青森県産りんごを使用した「あおもり林檎セミドライ」の事業化)
<p>※1 産学官金連携による取組の成果としての優れた技術・製品・サービスが、本県の新産業・新事業創出や地域活性化に貢献していると認められるもの。</p> <p>多くのドライフルーツが海外製造・輸入品である中、独自の乾燥技術により、青森県産りんご本来の色調や風味を保持したまま、理想的な食感を実現したセミドライ商品を開発し、加工事業部門の売上が全体の9割程度を占めるまでに成長した。</p> <p>セミドライ商品から得られた付加価値は、原料供給を担うりんご農家への還元や新たな雇用の創出につながっているほか、技術開発による製造ノウハウを地域食品事業者向けOEM機能として提供しており、地域活性化に広く貢献している。</p> <p>【連携機関等】 (公財) 21 あおもり産業総合支援センター、 (地独) 青森県産業技術センター農産物加工研究所、 碓ヶ関開発 (株)</p>	
イノベーション チャレンジ賞※2	株式会社弘前子ども発達支援センター(弘前市) (早期発達評価(アセスメント)支援 Web スクリーニングの開発と地域への普及)
<p>※2 産学官金連携による取組の成果としての優れた技術・製品・サービスが、本県の新産業・新事業創出や地域活性化に今後、期待がされるもの。</p> <p>発達早期である3歳児と5歳児を対象とした発達評価(アセスメント)を行うことができるWebスクリーニングシステムを実用化し、発達障害リスク児の抽出精度を従来よりも大幅に向上させた。</p> <p>弘前市における2023年度のWebスクリーニングの参加者は、3歳児で100%(法定健診)、5歳児で91%(任意健診)に及び、小児科をはじめとする専門職のリソースが少ない本県において、乳幼児健診での発達障害の早期発見と早期支援の普及に貢献した。</p> <p>【連携機関等】 (大) 弘前大学、弘前市</p>	



商品パッケージ(上)、セミドライ製品(下)



システム概要(上)、個人結果票(下)